
鳥が見ているもの

鳥呼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鳥が見ているもの

【Nコード】

N4565P

【作者名】

鳥呼

【あらすじ】

<いろいろな話の本音>

はじめましてです。

医者も看護師も薬剤師も臨床検査師もフツーの人間です。

ただ医療の知識は専門の学校で学んだためあなたがた患者よりもよく知っているだけ。全部の病気を治せるわけではないフツーの人間です。

さてこの日本の国は世界1、2位を争う国民皆保健の国です。他の国がうらやむくらいです。

でもいろいろと抜け穴があるのを知っていますか？

たとえばもし生活保護さえ取ればこっちのもの。

ぜいたくを望まなければ衣食住、大丈夫。そのためのノウハウ本だつてあります。

だから医療費だつて当然大丈夫、ちよつと身体の調子が悪いからつて簡単に

検査してもらえます。

生活保護もらつて当然の人はいいけれどそれでない人は本当に腹が立つ。恥ずかしくないのかしらね、最低だともうよ。

反対に働き蜂の人！ワーキングプアの人。

ちよつと身体の調子が悪いぐらいで休ませてはくれません。

やつと休みがとれて検査してもらえば1日がつぶれます。

精密検査にまわされたらもっと休みがつぶれます。

職場だつていい顔してくれません。

検査結果が悪性腫瘍で手遅れと言われました・・・さあどうしますか？

治療にすごくお金がかかります。3割負担でも我が家の家計では厳しい。

医療費負担軽減制度はあるものの10万円以上とは制限があります。

また先に負担しないといけません。
仕事は休めないし子供は小さいし今は死ねません。
どうしましょうか……。

鳥はこの保健制度を変に思う一人です。
どこぞの国よりはましかもしれませんが。

いつの時代もどこの国でも公平ではありません。
神様も公平ではありません。
運命だってそうです。

こういうことは誰も書きません。
でも心ある人はこういう状況を見ているし心を痛めています。

鳥よ、鳥。

あんたがそういう立場だったらどうするね？

「うん、生き物はいずれ死ぬ。

奇跡はあるかね？うん？私にはない？

それでは死ぬまでのタイムテーブルを作って
思い残しのないように

（お金ないなら、ないなりに）お金のかからぬように
思い出をいっぱい作ってなるべく笑顔で暮らすよ。
で、葬式代もなるべくかからぬように

周りの人たちに迷惑かからぬように
ひっそりと死に行く準備をしましょう。」

（注・自殺の勧めではありません）

ある小鳥のひとりごと……順次書いていきますね。
よろしく願います。

有名人でなくとも達人はそこいらに存在する

救急病院に長く勤務している看護師の中には恐ろしいほど予言ができるようになる人がいます。

というより、仕事の先が見越してできるのかな、当然仕事も手回し良く早いです。

静脈瘤破裂、脳出血も交通事故も像によつては即緊急手術です。夜中2時だろうが3時だろうが救急車には関係ありません。

こんな時間帯に運ばれてくる患者はまさか自分が救急車で運ばれる人に

なるとは思ってない人ばかりです。

当然受けた医師がトップにたち采配をふるいます。

救急医療に熟練した医師がトップに立った場合そのチームワークの良さは

超有名どころのサッカーチームにだって負けません。

一刻を争う事態は、眠いようというだれた泣き言は通用しません。

患者によつては発症発作時期不明年齢姓名不詳血液型不明病歴乃至薬歴不明です。

一からの状態からはじめる救急治療は医療の本領発揮といつてもいいかもしれません。

チーム全員、頭はフル回転、目はキラキラと輝いています。

さて輸血。輸血が絶対必要な手術もこれまた多い。

これも24時間体制で在庫ない場合、赤十字も動いてくれます。輸血用の血液は皆さまの善意であります。

（でもみなさんが行く輸血センターって変なヤツいるよな。アルバイトの綺麗な

お嬢さん方でなく常勤ばいおっさんに多い。なぜだろうか？センタ

「前で汗水たらして

「型の血液が不足しています」ご協力を」と必死で呼び込みしているバイトの子に悪いとはおもわんのか、バイトではなく常勤に

研修させる、呼び込みもたった一人で（強調）長時間を一度ぐらいはさせてみる）

で、冒頭の予言者・看護師の話にやっと戻る。

看護師によつてはすごい人にあたる。

輸血を臨検に受けに来る人だが真夜中の場合受け取りに来る人は例外なく急ぎで小走りでやってきて小走りでオペ室に走る。

言葉を交わす暇なんてねえです。こつちも受ける時には血液型と受ける番号を

PCで確認しないといけないので（パッケージの1つ1つに番号が違ふ）

最低限の言葉だけ。

で鳥があつた人。この人が輸血の状況の予言ができるんだよね。

しかも百発百中！

在庫管理が予測できるとあつて重宝するんだな。

どういふ経歴の人かは最後まで不明だったが、

「この人はどんなに止血してもただ漏れだから多分返品になると思う」

「一応オペは開始するけど途中でだめだろう。多分2パックぐらいは使うだろうけど」

「破裂した場所が場所なんで全部使うけど・・・以下ご想像におまかせします」

不謹慎だと怒る人もいるだろうが・・・。だとしたらごめん。

だが彼女はぼそと独り言をつぶやくようにしてチェック後の輸血パックを

ひったくるようにしてだつと走ってゆくのである・・・。

まあ、救急していればああ、この人はだめだなとはある程度は予測はつくが、血液何パックとまではできんわな。そこがすげえ。

こういう小さな？達人は何人を見た。

漫画で摘便の達人というのが登場しているのをみておお、と思ったが鳥の知りあいもそうだったし、点滴針をびったし子供だろうが老人だろうが

血管ありますか、というような人だろうが一発で通す達人もいた。ぎゃん泣きの子供をあやしつつ己の作業をこなすのが抜群にうまい人もいるし、

こういうのも医療現場にはなくてはならない人だ。

みんながそうであれば一番いいがまあ得手不得手があるから。

鳥は何か取り得があつたかな・・・（ぎくっ！！！！）

パワーハラスメント（於言葉の暴力）

医師の对患者へのパワーハラの話題です。

結構多いのじゃないですか？

医療はサービス業という認識もずいぶんと浸透したと

思われるが医師が意識しなくとも何げなく発された言葉で

傷ついた人はたくさんいる。

診察の現場で食事療法がうまくいかず、ねちねちとやられたある

年配の患者が涙をこらえてはい、はい、と医師の言う言葉を

必死で聞いていた。のを聞いたことがある。

（あんだこのままでは死ぬよってなあ、、、確かに人間はいつかは死ぬが、オイ！）

まあ言葉遣いが悪い医師も確かにいるがこの場合でも受取人の心の持ちようで

自分のために言ってくれと思う人と

私のことが嫌いであんな風に言うと傷つく人と2通りある。

どういう言われ方しようと信頼してくれるならついてきてくれるだろうが

このあたり客商売では考えられないよね。

医療は（特に大きい病院では）患者「客じゃねえから。

ほつといても患者は次から次へくるし、自分の得意分野や

御しやすい患者、自分で治せる患者だけみたいという医師もいるし。

（断言）

だから相手をよく見定めて物事をいいかえる能力も必要だ。

これは医師だけではなく他の医療人にも言えること。

鳥だって自分で気付かず患者を傷つけたこともあるつかと思う。

だが、以下のあきらかに医師が悪い例。

私が聞いたある患者はがん告知をつけて最後におずおずと

自分の余命はあとのくらい・・・？と

主治医に聞くとMRI画像をにらみ、

むっとしたようにしばらく黙っていたかと思うと

「あと3カ月！」と面倒そうにどなったそうだ。

診察を早く切り上げたかったのだろうが、やりようつてもものがある。

患者は当然そのもののいい方にシヨックを受ける。

この人はこういう医者に自分の治療をまかせられないと考えて

すすめられたケモ（化学療法剤）を断ったそうだ。

その後は病院に来られないのでわからないが「あと3カ月！」の
めんどくさそうなどなり声はきつつい呪縛となったに違いない。

この話は医師のパワハラの特徴だな、と思う。

だが鳥も医療者側の人間だから一応は医師の立場になって考えてみ
よう。

彼はなぜこういういい方をしたのだろうか？

案その1、実はこの患者は何度も何度も同じ質問を繰り返す癖があ
る。

この日この質問は確か5回目だったはず。何度も丁寧に説明したの
にわかってくれない。

際限がないし、外でまだ患者が沢山待っているのに診察が終わらな
いじゃないか。

とうとう面倒になつてので、怒鳴ったかもしれない。

（注：患者はたった1回質問をしたつもりになっているんだぞ、察
してくれえ！）

案その2、実はこのあと5分後に病院長に呼ばれている。

院長は気が短い。しかもとても怖いんだぞ。ぼくが怒られるから早
く話を終わりたいかった。

となったのは悪かったがそのあと手術（もしくは会議もしくはデー

ト）もあるし忙しかったのだ。

案その3、実は彼女（もしくは妻）からメールがきた。
緊急の用件みたいで早く返信しないとまた振られてしまう。（または怒られてしまう）

案その4、実は私はトイレに行きたかった・・・。
今日は行きそびれてもう限界だ・・・助けてくれ〜が
となり声になってかもしれない。

案その5、その6・・・と鳥は想像力豊かなので延々と続けられるが
やっぱりこの場合はどう考えても医師が悪いだろう。

案その1はそういう患者はざらにいるがそれならそれで紙に書くなり
家族同席で日を改めて説明するなどの機会も提案できるではないか。
真相はどうあれこれから長いつきあいになるうだろうという医師に
怒鳴られたという感覚はどのくらいにショックを与えるか。
もしかしたら自分を見取ってくれるかもしれないのである。

だがこういう医師は全く信頼できない。わからないことばかりなのに
こうして怒鳴られて治療されるのは耐えがたい・・・。私にだって
プライドがある。

な、よって医師は有罪だ。法律的には無罪だろうが罪は罪。

ただ言えるのはこういう医師はその患者だけにどなるのではなく
他の人も間違いなく怒鳴る。もしくは面倒そうにものをいうのである。

そして自分が何をしたか、他人にどう思われたかを気にしない。
（そういう気遣いの能力が部分的に欠落もしくは欠陥がある。
しかも对患者もしくは部下＝弱者に限る）

無意識的に患者や部下を弱者とみなしているのだ。気遣い無用だと、
ね。

養護するわけではないが患者の立場、不安をまったく考慮できず考慮したくてもかなわず

日々の忙しさに忙殺される医師は多い。感性が摩耗してくる。バーンアウトだ。

燃え尽き症候群ってきいたことあるだろう。これ看護師にも多いけど。

パワハラに関してはよくよく考えてまたアップしていきたいですね。医師への情緒的な教育も必要だと思うよ。ただでさえ忙しいのにいい加減なこと言っな！って怒られるからここでしか書けないけど。。。

それにしても仕事が患者を「こなす」になるのだ。その医者ってさみしいですね。

罪なことです。

患者さんの方も相手が悪かったと思って次の幕へ行つて欲しい。

医師だって誠意ある人多いんだから。ほとんどがそうだと思うよ。

寝食を忘れて仕事に打ち込んでいる尊敬すべき医師も多いよ。

ケモはどうかすると全か無の判定になりがちでこれも1つの選択肢だが

現在の医療では第1選択肢だろう。手術が必要な場合を除き、通院している限りは絶対に勧められる。

副作用はあるが今はよい副作用止めもある。

相談に乗ってくれる人も多いのでどうか悲観するのはやめてほしい。どうしてもケモが嫌な時は緩和ケア、ホメオパシー、マクロビ、道はいろいろある。

（ただし自己責任でお願いします。）

鳥だっていつがん告知される側になるかわからんし、これは心していつかは来るべき死に会いまみえるべく日々生きていますです。

パワーハラスメント（於言葉の暴力）（後書き）

逆にモンスターペイシエント（いわゆるトラブルを起こす患者）にも遭遇したことあるんでまた書くよ！

院外処方箋と調剤薬局の話

医薬分業はずいぶんと安定し皆さまの生活にも定着したと思います。さて一体だれが一番得をしましたでしょうか？

国ですか？病院ですか？製薬会社ですか？それとも調剤薬局ですか？鳥は最初に処方箋を外部の薬局に持って行ってもらいましょう、とすすめた立場の一人です。患者様の反応はいろいろでした。

広い駐車場を横切って門前薬局で一番便利のいいところはいつも満員です。

健康で元気な人はいいけれど、病院へ行くのがやつとで院外薬局まではもうしんどい人もいます。

今までどおりで院内の薬局でもらいたい、でも先生が医薬分業になつからそれはだめって言われた。

ここは公立の病院だから国の推進通りにしないとって言われた。本当はすすめる病院側も患者の苦労を思えば気がすみません。だってそう言ってきた人はたいいてい本当に通院すら辛い人です。

たとえば患者さん介護して車いすを押す人はもうどうみたって80歳過ぎているしそっちの方が足元が悪くてふらふらです。

まだこちら側に苦情をはつきり言える人はいい。でも今後の治療に不利になると

思いこんで、なあんにも言わず重たい足取りで処方箋をもって行く人が大半です。

でも少しはましになったかも。ファックスで先に送るという方法もあるし、

家の近くの薬局を紹介してもらつ手もあります。

定着した分、患者さまに利益になるように医師会、薬剤師会も改善しつつ

あると思います。

でもこれまた内情がわかってお薬手帳ももらっても医薬品提供情報用紙を

もらってもこれは有料だとわかります。

院内でもらう時よりも院外でもらう方が高いと分かったときなんてがっかりしますよね。

（注・安くなる人もいます）

ようようせっかく調剤薬局へたどりついて午前中は満員です。

1時間待ちですね、あ、あなたは錠剤がのめなくて

みんな錠剤をつぶして粉薬にしていけないのでもっとかかるかも……。

あのー早く帰りたいのですが、診察待合に時間を取られてもうしんどい……。

でも他の皆さんも待つていますよ。

ああ……、それでは仕方がないので待ちましょう。

調剤室の奥では薬剤師さんが一生懸命薬を作っています。

先生という声がすると、窓口の端ににすわっているおばさんがはい、と返事して

奥に入りました。はて、調剤場にいるあの若い女の子達は薬剤師ではないのかしら。患者様達はたいてい老眼なので目をこらして名札を読み取れます。

一番年かさのおばさんの名札には薬剤師　とあり、それ以外はただの　です。

調剤室入口の壁の上には薬剤師免許証は1枚しかはっていません。

あの若い女の子たちは全員調剤補助と言う事務員さんなのだとわかります。

薬剤師はできあがった薬を説明して患者に渡すだけ。

愛想はいいですが忙しいので質問もできない雰囲気です。

薬を調剤するのは薬剤師さんだけの特権ではないのでしょうか。あの事務員さんは指の先がなんですか、マニキュアっていうんですか真っ赤つかですね。手は綺麗に洗って消毒もしているのでしょうか。なんだか汚く思えます。

茶髪で清潔感のない人もいますね。煙草の匂いもしますね。姑根性みたいですがでも私達の大事な薬ですよ。

今頃は薬の説明書と明細書みたいなのがもらえます。調剤料ってわりとたくさんとられるんですね。あんな若い事務員さんが

何枚か薬のシートを取るだけでこんなにお金がかかるの？どうして？幸い私は 割負担だけどちよつと変に思うなあ。

薬剤師さんって時給いいんですってね。

窓口でお薬渡してあとは終わりなのに。ふとみると週刊誌が広げて置いてるじゃないの？

先生 の薬がないです、在庫ないです、といってちつと舌打ちした薬剤師さんもいるんですって。

私のお友達は処方箋を持ってくるまでパチンコの雑誌を読んでいた人がいてその人が事務員さんかなあって思っていたら薬剤師さんでその人は面倒そうに薬をはいつて渡したのですって。いつきても満員な薬局もあれば閑古鳥の鳴いている薬局がある。差がありますね。

反対にいつも評判がいいところはプライベートな会話ができて（ブースで仕切られている）

薬剤師さんは納得いくまで説明して何かご質問はありませんか？とか薬が前回とどう違うかちゃんと説明してくれる。

前に来た時の会話をちゃんと覚えていてうちの孫の名前も覚えてくれたって。

毎月毎回通わないといけない患者はこういう何気ないのが一番うれしいのよ。

確かに調剤補助という名目で事務員に調剤をさせているところもあります。

（特に地方の薬剤師が不足しているところはそうです）

厳密的にはこれは違反です。でも当局も黙認しているのが本当です。薬学の基本的な知識のないままに調剤しているがために監査を見逃して

このまま患者の手に渡ってしまう話も結構多いです。

また薬剤師自身もろくな調剤経験もないままに管理薬剤師として経営の一部を

まかされてしまうと天狗になってしまふ面もあります。

いわく採用していない新規の薬品の発注を面倒がったり患者に手間がかかる処方だと

暴言を吐いたり、事務員に調剤まかせて薬ができあがるのをだた座って待つだけの薬剤師。

（お前のことだよ！患者が1時間も待たせて平気な人ってマジ何の努力もしない、

卸の気に入りの男がくると患者で待合が満員でもしなを作ってずっとしゃべりたがる。

注意されて痛いところをつかれると何様だと怒り狂う。あんた最低だな。）

またこういう状況が一部の医療関係者から薬剤師が見下げられている面も本当だと思います。

もし万一の場合があれば責任を取るのは薬局の代表者の管理薬剤師もしくは経営者です。

調剤料金に関しては鳥も同感です。

でも政治的にもがっちりいろいろと食い込んでおいそれと

こつう面では削減はないでしょう。
医療業界はまだまだ、まだまだ儲かる業界なのです。

嵐を呼ぶ人たち

嵐を呼ぶ男もしくは女の話です。

ここでいう嵐はものすごく気力と体力を要求される仕事全般のことです。

（もしこういう表現が不愉快でしたら削除します。すみません）

職業は医師もしくは看護師もしくは薬剤師。

こいつと当直すると絶対に忙しくなる

眠ったりうとうとなんか絶対にできない！

重体の危ないひとばかり緊急入院する。気が抜けない緊急オペが続く。

救急なんでいろいろ受け入れはするが

なぜか自殺未遂が続くとか、交通事故だけが人が続くとか・・・

それが嵐。あれ不思議だね～～。

鳥も今月なんかヘン、何かとシンクロしているのか？と思う時期があったさ。

入院中重体患者が死ぬ。ご臨終ですと重々しくいわなきゃいかん。

エンゼルケアも早くしないといかん、亡くなられた患者の家族も忙しくなるだろうが

こっちも大変忙しくなるのだ。だって他の患者も通常通り看護もせんといかんし。

こういのでこういう組み合わせだと最強というペアがありましたな。

今頃どうしてるかな？

話しは続く・・・嵐って続くよね？

さる有名人（この人と到着すると絶対に眠れないという保証を本人もしてくれるという・・・）

と初めて当直した時興味シンシンだった。

だってごくフツ―の人ですよ。普段の仕事の態度だって真面目だしフツ―。

鳥「聞きましたよ、忙しくなるんですってね」

嵐「うん・・・、どうなったらごめんよ、覚悟してな、今は嵐の前の静けさだから」

今のうちゆつくりしていつてな」 本気でこういったので驚く鳥。果たして夜がふけていくうちに夜間駆け込みの患者がふえていく・・・。

静まったのは午前3時ごろだったかな、しかも変わった薬品がでていたりする。

夜間発注なんてはじめてしたよ・・・（確かサーファクテンだったかな。

t-P AやP A Mとかはいつも多い目にあるし）

午前7時ごろ日勤のみんなが来るまでに朝ごはんを食べたが

鳥「やっぱ、普段別の人と組むよりもいそがしかったな」

嵐「ね、なんでだろうと思うけどそうなるんだよね」

鳥「一番しんどかったのは？」

嵐「R Hマイナスの人の輸血・・・在庫なくってね」

鳥「R Hマイナス！！ひええええっ当直ですかっ」

嵐「うん真夜中だよ。赤十字がT県からここまでヘリ飛ばすっていつてそこまで話してたらぎりぎり」

なんか輸血OKの家族が来院したって発注中止になった・・・

でもマジで焦った。輸血ないせいで死んでしまったらどうしょって」

鳥「そりゃすごい・・・でもよかったね」

な、いろいろあるんだよ・・・不思議な話が・・・。

ちよつとした病院の怪談話

いろいろと難しい解決の仕様のない話をつづけたので閑話休題。
院内における死者の存在とお化けの話をしましょう。

あんまり怖くないですが当直中の人で怖いのが嫌いな人はどうかスルーしてください。

ばかばかしいという人もスルーしてください。

病院で生まれる人もあれば死ぬ人もあります。

現在入院中に死ぬのが自宅の畳やベッドの上で死ぬよりも統計的に多い・・・と思う。

で大病院になると葬式屋さんが常駐してたりもします。

（その辺の話もおもしろいのがありますが、またの機会に）

さてうわごとと言うかせん妄と言うかその境界はあいまいです。

あそこに誰かがいる！という患者さんやナースコールで呼ばれたので
行くと恐怖で目だけになった患者さんが震えながら

いいいいい今、こ、ここ、ここで女が~~~~~っ

ん？何もいませんけど？

看護師さんっ怖いのでここにいてください！

でも深夜勤はたった二人で40人看てるのでムリ、よかつたら睡眠
薬あげましょか？

笑顔でさらりと言い切る・・・という話も結構多いです。

病院のよくある都市伝説

1、人が死ぬベッド・・・ありがちだが鳥は出会ったことなし

2、誰もいないはずなのに巡回中に足音が続く・・・あつたあつた、
某科の若い看護師が震えあがってもう当直できないと泣いたらしい
（泣いても無駄、当直は常勤である限りついてまわる。嫌ならば医
院とかパートになるしかない）

3、誰もいないはずなのにひそひそ声が・・・鳥にも何度かこの経験はあったさ。でも空耳と言うことにしてさっさとその部屋から出た。いちいち怖がっていては仕事にならん。

4、死んだ人がまるで生きているかの様子で出た・・・事務の子がみた。点滴をひきずって入院時来ていたままのパジャマ姿で歩いていたらしい。自分が死んだことに気付いてないようだったらしい。鳥も知っていた患者だったので本物がどうか点滴液の薬品名も見ておいてほしかった。これはどういう現象か靈感のある人にぜひ聞いてみたい。だって葬式では当然点滴もつけてないし着替えもしているはずだよ？

5、まあいろいろあるがこの辺で。好評なら続けても良いが何書いても現在無反応なんで・・・
みなさん、さようなら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4565p/>

鳥が見ているもの

2010年12月18日19時16分発行